

飯南

いいなん

議会報

第79号
令和6年10月18日

- 2-3 9月議会報告／可決した主な議案
決算審査特別委員会を設置
議会活性化検討特別委員会を設置
令和6年度各会計補正予算を可決
- 4-9 一般質問
- 10 討論／採決の結果
- 11 研修報告／東京で飯南米発見！
- 12-13 常任委員会報告
議会活動報告／全員協議会の報告
- 14-15 特集〈選ばれる高校になるために〉
- 16 明日を拓く





令和6年

9月定例会を終えて

実りの秋到来、新米価格上昇で期待と懸念

本定例会では、頓原・赤名両農村環境改善センターの大規模改修、農作物鳥獣被害対策支援、町道頓原長谷線改良完了に向けた予算などを可決した。その他、認定案件（1件）、報告案件（1件）、議決案件（10件）を可決した。

台風10号通過ののち、風も涼しくなり、暑さも和らぎ始めた。季節の移り変わりは収穫を告げる合図でもある。

記録的な猛暑が続き、農作物への影響が懸念されたが、本町では無事に収穫が進んでいる。一方、米の価格が上昇している。JA島根雲南地区本部が発表した令和6年産の新米は昨年より一袋（30kg）あたり約2000円高くなり、農家にとっては経済的な恩恵がもたらされるものの、消費者にとっては負担増になる。
米不足の中、今年も新米の収穫を喜ぶ秋が訪れた。



可決した主な議案

条例関係

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係条例の整備に関する条例など2件

諸議案

島根県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約など2件

予算

令和6年度飯南町一般会計補正予算（第3号）など7件

報告

令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告1件

決算審査特別委員会を設置

令和5年度飯南町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。

12月定例会で審査結果を報告する。

委員長	景山 登美男	委員	伊藤 好晴
副委員長	戸谷 ひとみ	委員	高橋 英次
		委員	安部 誠也
		委員	平石 玲児

〔臨時会〕

議会活性化検討特別委員会を設置

議会の改革を推進するため、議員の定数や報酬などの調査及び検討を行うとともに議会の活性化を図ることを目的として設置した。

委員長	高橋 英次
副委員長	熊谷 兼樹

委員	伊藤 好晴
委員	内藤 眞一
委員	安部 誠也
委員	景山 登美男
委員	安部 誠也
委員	平石 玲児
委員	戸谷 ひとみ

設置期間…令和6年7月31日から令和6年12月31日まで

令和6年度 各会計補正予算 一般会計は3億8854万円増額に

農村環境改善センター（赤名・頓原）大規模改修1億7509万円増額、鳥獣被害対策協議会への補助金及び貸付金1015万円増額、社会資本総合整備交付金の交付決定による道路整備事業費400万円増額、下三日市自動堰の巻上装置修繕384万円増額、財政運営を改善するための繰上償還1億9057万円増額など

会 計 名		補正予算額	予算総額
一 般 会 計		3億8854万円	85億6696万円
特別会計	国民健康保険事業	2295万円	6億4330万円
	後期高齢者医療事業	0万円	1億8515万円
	介護保険サービス事業	0万円	3865万円
病院事業会計		2297万円	14億2721万円
簡易水道事業会計		917万円	4億1794万円
下水道事業会計		0万円	5億7969万円



マイナンバーカードは慎重に

伊藤 好晴 議員

Q 紙の保険証存続を
マイナンバーカードと健康保険証の強引な一本化は、法律上「任意」とされているカード取得を義務化するものである。当初は任意としながら、国民の義務とされる制度を紐づけるなど言語道断である。
マイナンバーカードの普及がなかなか進まないのは、国民が必要としていないからに他ならないと思う。
さまざまなトラブルの中で、一番大きなリスクに発展する可能性があるのが『マイナ保険証』と考える。別人の情報登録され、その情報をもとに患者の取り違えが起きると、飲んではいけない薬を飲んでしまうなど、人の命や健康に直接関わる重大な問題に発展する可能性がある。ほかのトラブルとは質が違う。
ミスを総点検し、リスクがなくなったことが確認できてから『マイナ保険証』を使っても決して遅くない。



現在『1年』としている併用期間を長く認め、新たに出てきたトラブルに対処していく。そうした進め方の方がマイナンバー制度全体への信頼が高まると考える。
国民からも、医療現場からも反対の声が上がっているマイナ保険証の義務化は、個人の権利と個人情報保護の基本的原則に反するものであり、紙の保険証の存続を国に強く求めるべきだと思うがどうか。

A 併用期間で解決を求める
町長塚原隆昭
十分な周知と説明を町村会として要望している。
マイナ保険証が大きなりスクになる可能性はあると思う。入念なデータ確認などが必要だ。(国には)保険証と併用できる1年間で、課題の解決に努めてもらいたい。

A 調査はこれから

町長塚原隆昭

浄水場14か所で11月までに原水について検査する。検査結果は、ホームページで公開する。

1期目の総括と2期目への抱負は



高橋 英次 議員

Q 4年間の総括を
行政報告で「任期中の町政運営を総括し、新たな決意を持って次期町長選挙に再び挑戦したい」との発言があったが、1期4年の総括を。

A 全身全霊で取り組んだ

町長塚原隆昭

就任時はコロナ禍で、豪雨災害もあった。医療・福祉施設の職員の皆さんのご苦勞や、建設業者の会社を挙げての対応には、大変感謝している。
町長は、任期4年の中で公約に掲げた政策を実行し、結果を出さなければならぬ。実行しても結果がついてこなければ、リーダーとして失格だと思う。
反省することも多くあったが、議会や町民の理解と協力を得て、職員と一緒に町政運営に取り組んでこられたことに感謝する。
飯南町の発展のため、全身全霊で取り組んできた。

Q まちの将来は?
飯南町のあるべき姿を、どう実現するのか伺う。
A 笑顔と誇りで未来につなげる
町長塚原隆昭
実現には産業振興が一番重要だ。
若者・女性の魅力ある雇用の場の創出、安定した医療福祉サービスの提供、災害に強いまちづくり、特色のある教育の推進、高齢者が生涯現役で過ごせる環境づくりに取り組む。



Q 新社会人の地元生活応援は
新社会人となって、地元に残り地元で就職し、地元での生活を望む人すべてに、どう報いるのか。
A 制度の拡充を検討
町長塚原隆昭
職種を限定せず、給付型の支援金拡充の方法を検討している。
本町へ帰ってきて仕事をする、本町で働く意思を持つ若者、本町で腰を据えて頑張ろうとする若者への応援により定着し、まちづくりの担い手になって欲しいという思いがある。

これらは、人口減少対策につながり、町の活性化にもつながってくる。

A バランスの取れた高齢者福祉に

町長塚原隆昭

地域内で仕事を生み出し、そこで活躍して地域を支えていただく仕組みができないか考えたい。
福祉サービスを受ける側、提供する側、両方の無理のないバランスの取れた高齢者福祉を目指す。

「町長は、どちらかというと高齢者に目を向けていないのでは」と指摘だが、決してそういう思いで町政運営はしていない。
飯南町で安心して老後が過ごせる「まち」にしていきたい。

Q PFASの実態は

発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)が各地の浄水場や河川で検出されている事態を受け、政府が水道水の全国調査に乗り出したことがわかった。
PFASは近年、日本水道協会の水道統計でも検査項目の一つとして調べられているが、対象は給水人口が5千人超と規模の大きい水道事業などに限定されていた。

今回、国は小規模な簡易水道・専用水道にも対象を広げて調査を開始した。期限は9月末だが、本町においては調査が終了したのか。その結果を問う。



続く人口減少への対策は

安部 誠也 議員



志々支所の窓口業務

Q 合併の評価と今後のまちづくりは

来年1月で合併20年を迎える。近隣自治体から排除された中で、唯一の選択が人口1万人未満の小さな合併だった。当時の政府は「飴と鞭」で財政面での圧力をかけてきた。

この20年を町長はどう評価しているのか。飴である合併特例債はこれまでいくらか使われ、残りは何に使うのか。

庁舎をはじめ、拠点への集会所施設等はほぼ計画どおりに完成したが、人口減少には歯止めがかからない。その要因を分析した結果を伺う。

また、雇用創出、新たな産業創造での若者の定住を図るべきと考えるがどうか。

民間の有識者会議が4月に発表した「消滅可能性自治体」には該当しなかったが、飯南町をどのように維持していくのか。

A 定住を重視、危機感はある

町長塚原隆昭

小さな町からの生命地域宣言を基本理念に掲げて

①人材や地域支援など、まちづくりの要素が広がり、まちの魅力が厚みを増した。

②多かつた職員数は業務や組織の見直し等を行い行政組織がスリム化された。

③合併当時は分庁舎方式をとっていたが、新庁舎建設で管理経費の削減が図られ、効率的な行政運営になった。

④合併特例債の手厚い財政措置を活用して、住民ニーズに沿った施設、道路整備を進めることができた。

一番のメリットは、小さな2町の合併で、地域のつながりを重視して、合併時の支所機能の維持ができ、きめ細かなサービスを継続することができた。

合併特例債は本庁舎建設事業をはじめ55事業に活用し、令和5年度までの発行額は35億5000万円余で残

り約9億円だ。

重要な課題である定住についてはしっかりと受け止めている。

最近の3年間は社会減が続いており、自然動態においても、高齢者の死亡、出生者数の減により、人口が減少し続けている。子育て世代の減少等により、出生数が減少していることが要因として大きいのではないかと考える。

本町は消滅可能性自治体には分類されていないが、実感として人口に対し、大変危機感を感じている。子育て世代の数を増加、維持に力を入れている。就労の場の確保、就労環境のさらなる整備も必要だ。

その他、道路橋梁の老朽化対策について質問があった。



一般 質問

令和6年 9月定例会

観光宿泊施設の今後は

内藤 眞一 議員



Q どうする観光宿泊施設

本町には「やまなみ」「琴引ビレッジ山荘（以下山荘）」「憩いの郷衣掛（以下衣掛）」の観光宿泊施設が3つあるが、いずれも老朽化しており、町は在り方を検討している。

現状を整理すると

① 宿泊

「やまなみ」は営業中止。「山荘」は各部屋にトイレと洗面等がないため、冬季以外の利用は限定的。「衣掛」はビジネス客中心でユニットバス付きシングルが多く利用されている。

④ 会議

「やまなみ」と「衣掛」は利用はあるが、減少傾向。「山荘」は受け入れていない。

このような状況だが、頓原と赤来に一つずつレストランと宴会場を兼ね備えた施設は今後も必要ではないか。

町の中央付近で交通の便も考慮した宿泊施設も一つ必要だ。町長の考えを伺う。



憩いの郷衣掛

② レストラン

「やまなみ」は町内外の客が昼食に利用し、採算も取れている。「山荘」はスキーシーズン以外の効率が悪い。「衣掛」は昼食・夕食ともに日常的に地域住民や来町者が利用し、採算性も良い。

③ 宴会

「やまなみ」と「衣掛」は20〜30人の宴会と法事等もあるが、減少傾向。「山荘」は現在受け入れていない。

A 広く声聞き方針を固める

町長塚原隆昭

令和5年度に「観光宿泊交流施設の今後の在り方」を検討した。

宿泊は一カ所に集約、食事は頓原と赤来に一つずつとする。

具体的に説明すると、「やまなみ」は道の駅として昼間のレストランを存続。宿泊と宴会を廃止し、2階の空きスペースを子育て世代の憩いの場として整備する。「衣掛」

は、昼夕のレストランと20〜30人規模の宴会場を整備。客室はレンタルオフィスとして活用する。「山荘」は、老朽化が著しく、解体して周辺に宿泊・レストラン・宴会場を持つ新施設の建設を検討する。

議会からは、空きスペース整備の必要性の是非や宿泊施設の候補地検討などの意見をいただいている。

今後は、住民説明会の開催、利用者アンケートなど、広く声を聞き有益な施設再編となるよう方針を固めていきたい。



やまなみ



琴引ビレッジ山荘



こどもをまんやかに置いた議論を

戸谷 ひとみ 議員

どうなる和牛繁殖経営

熊谷 兼樹 議員



Q 奥出雲和牛ブランドの評価を

和牛繁殖経営の厳しい経営環境は2年以上に及んでいる。
そのさなかの令和4年6月、JA島根が唐突に発した肥育事業からの全面撤退は、和牛繁殖経営に大きな衝撃を与え、将来への不安を抱かせている。
JA雲南と、雲南地域1市2町で築いてきた奥出雲和牛ブランドは、本町にとって大きな財産であるはずだ。奥出雲和牛ブランドの評価を確認したい。



A 継続して振興

町長塚原隆昭

雲南管内での一貫生産体制による効果として、肥育された奥出雲和牛の産肉データーが繁殖農家にフィードバックされ、繁殖基盤の強化、所得向上につながっている。
本町では、ふるさと納税の返礼品の87%を占めており、非常に重要な地域資源と考えている。今後も継続して振興していく。

Q 具体的な振興策は

雲南地域和牛振興ビジョンが、令和6年から10年間示されている。
本町の具体的な振興策を問う。

A リース牛舎建設で若者育成

町長塚原隆昭

本町としては、優良繁殖雌牛の保留事業による繁殖基盤の強化に加え、今後は、リース牛舎等の建設による若手農家の育成、和牛改良組合や大規模酪農農場と連携して畜産振興を図りたい。

Q 中学校部活動の地域移行

どう取り組む

中学校部活動の地域移行について、本町ではあまり話題になっていない。
令和5年から7年が移行推進期間になっているが、その目的は何か。本町では今、どのような段階にあるのか。

最終的に地域移行ができない場合、教職員による部活動の指導は継続できるのか。

A 実態把握に努める

教育長 大谷哲也

目的は「地域の持続可能な多様な環境の一体的な整備により、地域の実情に応じ、スポーツ・文化・芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消すること」(文科省ガイドライン)を目指すとしている。
部活動地域移行に向け課題など実態把握に努めていく。
教職員による指導継続は、県の教職員に関する兼職兼業の取り扱い次第だ。

Q 子どもたちの安全が第二では

安全が第一では

志々小学校校舎の耐震診断が出るまで待てない、今行かせることすら心配だという声がある。

安全性を示したデータがないと不安というのは当然だ。耐震改修がされておらず、老朽化が進み、早急に対策を講じる必要があるのに対策されていない校舎を使うのかを、小学校の統廃合とは分けて考えるべき。

全国各地で大規模地震が頻発し、いつどこで発生してもおかしくないため、一刻も早く今の校舎の使用をやめべきだ。子どもたちの安全を第一に考えてはいかがか。



志々小学校視察

A 耐震診断の結果をうけ判断

結果をうけ判断

町長塚原隆昭

劣化度調査や長寿命化計画で、校舎の老朽化が激しく、早期の対応が必要となっていることはもちろん承知しているが、代替の施設利用は考えていない。

今実施している耐震診断では、最終的に校舎の補強対策についても検討され、必要な対策工法なども提案される。

2月に専門家による判定委員会が出す審査結果を確認した上で最終判断したい。校舎利用を今すぐやめるといふ考えは持っていない。

Q 保育所運営

早期見直しを

保育所4カ所とも老朽化が進み、保育士の不足も埋まらない。ギリギリのところで日々の保育をしており、余裕のある環境が作れない状態。1カ所でも統合すれば職員数の余裕ができ、子育て支援の範囲拡大にもつながるといふ意見がある。

一方で、保育所が統合したら小学校も統合になるから、今は議論すべきではないという意見もあるが、私の故郷は、保育所1つ、小学校3つ、中学校1つで、このようなケースはほかの地域にもある。

建物の状態や立地条件に心配がある状態を放置せず、保育の身や、安心して子育てできる持続可能な保育所運営を重視し、小学校の統廃合とは分けて議論を始めてはどうか。

A 現状では困難

町長塚原隆昭

保育所を取り巻く状況を検証し、運営の在り方を検討することは当然必要だが、小学校の統合と切り離れた議論は難しいのではないかと考えている。



討論

議案第53号

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

反対討論 伊藤 好晴議員

賛成討論 安部丘議員

保険証の廃止は大問題

改正は不可欠だ

マイナンバーカードと保険証の一本化によるトラブルは、他人の医療情報が紐付けされていたなど、命にもかかわる危険があり絶対にあつてはならないこと。紙の保険証廃止ありきで、国民の命を危険にさらしてまで政策を推進すべきではない。国民と医療現場の声に向き合い、健康保険証を存続させるべきである。



採決の結果 [9月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	熊谷兼樹	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部丘	平石玲児	戸谷ひとみ
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[追加提案]

財産(飯南町立小学校教師用指導書)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
----------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[臨時会(7月31日開催)]

令和6年度琴引 スキー場スノーマット更新工事(第2工区)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[臨時会における議員提出議案の採決結果]

議会活性化検討特別委員会の設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-----------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○:賛成 ●:反対 欠:欠席

研修報告

議会広報常任委員会

9月25日(水)

町村議会広報研修会 全国研修

議会広報紙を変える！

読まれる秘訣を学ぶ研修会に参加

3名の講師から紹介された効果的な紙面作成方法に関する事例は、今後

の議会報飯南の編集に大いに役立つと思う。



特に、議会広報紙コンテストで最優秀賞を何度も勝ち取っている、埼玉県寄居町の議会広報広聴特別委員会委員長鈴木詠子氏からは、「読まれない議会だよりには出す意味がない！」との力強いメッセージがあった。鈴木氏が議会だよりの改革に乗り出した時、大事にしたのはTTP(徹底的にパクリすること)である。コンテストで上位に入った紙面の中の、いいなと思う部分をマネすることを繰り返したそうだ。

現在、平均30人前後の町民が登場する寄居町の議会だより。毎回新しい方へ取材するというこだわりを持つて挑戦しているそうだ。登



場した方の家族、友人、知人がそれを引きつかけに議会だよりを手取るならば、これに勝る読者拡大のチャンスはないと考えているという。

このような取り組みは、ぜひとも議会報飯南でも取り入れたいと思った。取材担当があなたにお声がけした際には、どうぞご協力をお願いいたします。(平石・戸谷 文)

東京で

飯南米発見！

町村議会広報研修会場への移動中、虎ノ門ヒルズ内の福島屋で宝物を発見した。飯南町産特別栽培米「コシヒカリ」が、まさにそこで輝いていた。

全国の名だたる多くの米の中で、飯南産に出会えた瞬間、感動が胸に広がった。

福島屋は全国からセレクトした高級食品等を取り扱うスーパーとして知られているが、そんな場所に飯南米が並んでいることに驚きを隠せなかった。

大消費地・東京での拡大が期待される飯南米。その美味しさが、さらに多くの人に知れ渡ることを心から願う。



福島屋で出会った飯南米

教育経済常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：戸谷ひとみ
委員：伊藤好晴 内藤眞一 平石玲児

常任委員会 報告

総務厚生常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部誠也
委員：早樋徹雄 高橋英次 安部 丘

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第3号)

【歳出】 農作物鳥獣被害防止事業 1015万円

鳥獣被害対策協議会から当初予算を上回る要望が出たため、増額補正を行う。

財務省は鳥獣害対策の効果を疑問視するが、集落ぐるみの管理体制が取れている地区に対して、広域防護柵・電気柵を導入することで効果を実証したいとの意思が示された。

委員から鳥獣被害が多様化する中、積極的な予算措置を評価する意見があった。

町道頓原長谷線整備事業 400万円

町道頓原長谷線整備事業に係る費用の、社会資本総合整備交付金の交付決定による増額。

今年度の改良工事は、ロードヒーティング管理建屋撤去・撤去後の道路拡幅、応急処置を施している法面とその左右を改良する。この増額により当初から予定していた法面工事も完了できる。

委員から来年度の予定について質疑があり、改良区間全線の舗装工事を行い完了する見込みとの説明があった。



頓原長谷線（頓原交差点付近）

小学校共通経常管理費 214万円

スクール・サポート・スタッフ配置事業の要件変更により、県補助金の交付決定があり、一般財源から県補助金へ財源変更する。

スクール・サポート・スタッフは、教職員の事務負担を軽減するため配置される事務員で、スクール・サポーターとは違う。小規模校の志々小学校には県費での事務員配置がないため、町費で配置していたとの説明があった。

委員から次年度以降の対応について質疑があり、県の財政状況によりわからない点もあるが、要望はしていくとの回答があった。



志々小学校の視察

各種負担金 72万円

バーコード発行機購入予定36台分の負担金。

効率的な産直への農産品出荷を目的に、バーコード発行機更新を雲南農業振興協議会を通して支援する。1市2町による一括購入により200台以上の購入数となり、定価の半分以下で購入でき負担を軽減できる。

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第3号)

【歳入】 エルピーガス振興センター補助金 2360万円

頓原農村環境改善センターみせんの空調設備更新、およびLPガス非常用発電設備設置のための補助金

【歳出】 頓原農村環境改善センターみせん臨時管理費 1億4506万円

照明設備LED化、ホール等の床修繕、音響設備・エレベーター・空調設備更新、LPガス非常用発電設備設置費用

赤名農村環境改善センター臨時管理費 3003万円

照明設備LED化、トイレ洋式化、事務室等の改修、音響設備更新の費用
※いずれも避難所施設として優先的に整備するもの。
赤名農村環境改善センターの空調設備更新、LPガス非常用発電設備設置は次年度に予定されている。

議会活動報告 [7月～9月]

7月3日 議会広報常任委員会（議会広報紙編集作業）
7日 島根県消防操法大会
8日 議会広報常任委員会（議会広報紙編集作業）
10日 教育経済常任委員会
17日 総務厚生常任委員会
25日 山形県白鷹町議会行政視察受け入れ
26日 議会運営委員会（7月臨時会の議案説明、日程ほか協議） 全員協議会（議員のみ）
29日 総務厚生常任委員会
31日 臨時議会・全員協議会

8月15日 飯南町二十歳のつどい
21日 教育経済常任委員会
22日 島根県町村議会広報研修会
26日 雲南広域連合定例会・雲南市飯南町事務組合臨時会
28日 町村議会議長会臨時総会
28日 秋季畜産共進会
29日 議会活性化検討特別委員会

地域介護予防活動支援事業 65万円

「飯南町まめな塾PLUS事業」により、ADL(日常生活動作)の低下が懸念される高齢者を対象に、短期集中予防サービス(通所・訪問)を行うことで自立の状態に回復できるよう目指す。

「飯南町イキイキPLUS事業」により、元気な高齢者等を対象に日頃から自主的に健康増進に取り組むことを促す。

児童福祉関係電算管理費 261万円

令和6年10月の児童手当制度改正に伴うシステム改修負担金

主な改正内容は、給付要件から所得制限が撤廃されるとともに、支給対象は18歳到達後の最初の年度末までとなる。

また、第3子以降の手当月額は一律3万円となり、支払期日は年6回(偶数月)になる。

飯南町病院事業会計補正予算(第2号)

建物整備費 209万円

正面玄関(回転扉)と周辺の改修工事設計費用。
回転扉の部品調達が困難となり改修する。



飯南病院の玄関付近の視察

9月3日 議会広報常任委員会
4日 議会運営委員会（9月定例会の議案説明、日程ほか協議）
9日 9月定例会：本会議（町長提出議案の説明、質疑、委員会付託）
12日 本会議（一般質問）
13日 委員会審査
17日 委員会審査
18日 委員会審査
19日 委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
20日 本会議（委員長報告、討論、採決）

25～26日 町村議会広報研修会（東京）
27日 議会広報常任委員会（議会広報紙編集作業）
30日 議会活性化検討特別委員会

全員協議会の報告

令和6年7月31日(水)

- ①農村環境改善センター(頓原・赤名)の大規模改修について
- ②飯石森林組合の製材加工部門の業務委託について
- ③道の駅頓原周辺エリアの整備方針について
- ④滞在型地域交流拠点施設について

令和6年9月19日(木)

- ①飯南町地域防災計画の修正について
- ②令和6年度飯南町総合振興計画等評価委員会の答申について
- ③知事要望について
- ④高齢者福祉基本計画への提言
- ⑤教師用指導書の購入における不適切な事務処理について
- ⑥飯南町教育環境基本計画策定について
- ⑦町内小学校のいじめ事案について

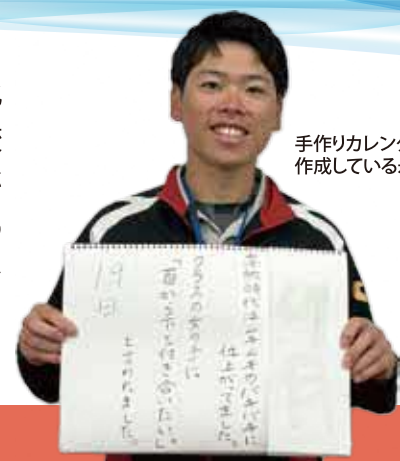
特集 選ばれる高校になるために

生徒がいれば学べたら

それが**高校の魅力**になる



飯南高校への支援は重要な施策であることから、町は高校魅力化コーディネーターを配置し、飯南高校と中学生をつなげることや高校生たちと地域の方々をつなげる役割を担っています。それらのつながりの中で、生徒が成長する機会や動機を生み出し、生徒自身が自分の魅力に気付くサポートを行い、それを伸ばしていこうとする取り組みをしている2人のコーディネーター（永瀬友真さん、吾郷紘平さん）がいます。今回は「ヒト」をつなげて4年目の永瀬さんにお話を聞きました。



手作りカレンダーを作成している永瀬さん

永瀬さんがみた飯南高校の魅力は

- 😊 全校生徒、顔と名前が一致する！
- 😊 生徒が高校生活を満喫している！
- 😊 生徒それぞれ、活躍の場がある！
- 😊 地域の方の巻き込みがスゴイ！
- 😊 周りが静かなところ…

人柄、食べ物、自然、環境、全てにおいて奥深い町にあるのが、飯南高校の魅力です！



大脇さんが語る飯南高校の魅力

選ばれる高校になるために

高校の内部を魅力化することです。コーディネーターが高校の魅力をいくら発信しても、中学生の心には刺さりません。中学生の心に飯南高校の旗を最後に突き刺すのは在校生です。飯南高校の生徒が自分の言葉で魅力を語ることこそ価値なのです。

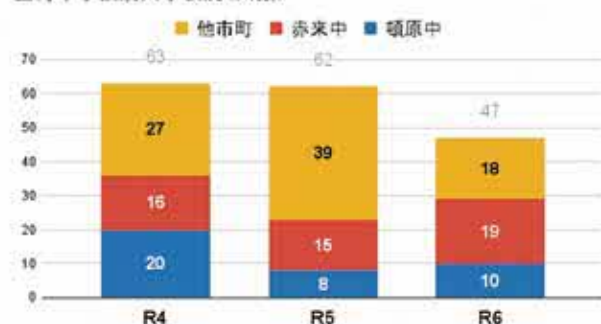
皆さんがネットで商品を買うときも、商品説明よりレビューを信用しますよね。生徒が自信を持って飯南高校を語れるように、毎日が楽しくなるような仕組みを作っていきたいです。

今年度の入学生が少なかった原因は？

単純に子どもの数が減っています。近隣の高校の入学者数が突出して増加したとも言えます。ただし、通信制を選択する人は増えました。コロナ禍で中学校を過ぎ、学校に必ず行く必要はないと感じた生徒は一定数いました。

子どもたちが育った社会環境を含めた高校の在り方を、改めて考えるタイミングが来ているのではないのでしょうか。

出身中学校別入学状況(人数)



地域の人とつながる



森とつながる



町とつながる



地域の高齢者宅とつながる



伝統とつながる

地域が生むいろいろな学び



小学校とつながる

地域と生徒をつなげてくれる！魅力化コーディネーターにこれだけは伝えたい！



飯南高校生が叶えたい夢

飯南高校

- 2年 向山穂大さん(鳥取県)
むしやまひなた
- 2年 西村拓真さん(滋賀県)
にしむらたくま
- 1年 時實怜奈さん(兵庫県)
ときざねれな
- 1年 前田桃花さん(岐阜県)
まえだももか

来島の町政座談会で、町長はじめ役場の幹部がずらっと並び、地域住民も参加する中で「飯南町が好きです。学習支援館のおかげで学習意欲がわき、とても助かっています。対象を広げてはどうですか？」と発言した飯南高校生がいました。

実は彼は、飯南高校サマーツアーを企画運営したメンバーの一人でした。

サマーツアーって何？

県外の中学生に飯南高校と飯南町の魅力を知ってもらうために、飯南高校の生徒たちで企画運営するイベントです。今年は、水鉄砲・釣り・野菜収穫体験やそば打ち体験を企画しました。

まずはじめに、やりたいことを思いつくまま出し、その中から現実的なものかなどを考えて、魅力化コーディネーターと打合せを重ねて決めていきました。

企画運営に参加して

普段生活していたら、飯南町にいるけどやらないことも多くて…中学生に魅力を伝えると言いつつ、自分たちも初めてやることも多いから楽しかったです。

企画するのは難しかったし、雨の時はどうするかなどを考えるのも大変でした。だけど、去年も今年も体験してめっちゃ楽しかった。

なぜ飯南高校を選んだの？



(向山)いところが卒業生で、いろいろ話を聞いて、良いかなと思った。生徒数のわりに先生が多いから手厚くみてくれるっていうのを押された記憶があります。



(西村)一回県外に行ったら？と親が紹介してくれました。

何校か候補があつたけど、ここが一番普通かなと思った。もちろんいい意味で。



(時實)この卒業生にすめられました。



(前田)しまね留学をすすめられ、親が何校かしぼっていた中から選びました。帰省する時に時間がかかりすぎないこともポイントになりました。

「普通」をもっと楽しみたい

飯南町は移動手段が少なく、出雲に買い物に行くのが難しい。月に一回でもいいから、利用しやすいバスを走らせてもらえると嬉しいです。寮生活に欠かせないシャンプーなどの日用品も自分で見て選びたいです。

普通の高校生がやっているブリクラやカラオケ、映画をもう少し気軽に楽しめると、飯南高校の魅力がさらにアップすると思います。

夢をかなえるためにわたしたちができること

- ・出雲まで行くのが大変だとみんなに知ってもらう。
- ・寮生に呼びかけて共感する仲間を集める。
- ・飯南町の現状について知る。
(誰が運転するのか、人手は足りているのかなど)
- ・実現するために必要な人や金、物について考える。

その次の一歩は、
魅力化コーディネーターを説得します！

今月の表紙写真



人材育成講座にて

「普通に生活する時は、地域や役場の人と関わることがないので、みんなで楽しみながらSDGsを学べて良かった。」これは役場が主催した人材育成講座に参加した高校生の感想です。

地域と高校生が交じり合えば、笑顔が生まれます。その笑顔の後ろには、高校生を陰で支えるヒトがいます。

(関連特集14～15ページ)

《キラリ★飯南人》募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190



議会広報常任委員会

委員長:戸谷 ひとみ 副委員長:平石 玲児 委員:伊藤 好晴 高橋 英次 安部 誠也 安部 丘

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867